

平成 30 年度東京大学地震研究所共同利用

研究集会「地震動のリアルタイム解析:防災・減災に向けた即時的な活用を目指して」

日時: 2019 年 1 月 10 日(木)~1 月 11 日(金)

場所: 東京大学地震研究所 1 号館セミナー室 (2F)

プログラム (2019/1/8) 発表 20 分+質疑応答 5 分

○1 月 10 日(木)

13:35~13:40 開会の挨拶 (小木曾仁)

【座長 山田真澄】

(1) 13:40~14:05 林元直樹(気象庁)

「緊急地震速報の発表状況と現在の取り組みについて」

(2) 14:05~14:30 小寺祐貴(気象研究所)

「地震動即時予測への速度計の活用可能性の検証:強震観測時の Hi-net 波形の解析」

(3) 14:30~14:55 溜渕功史(気象研究所)・小寺祐貴

「観測網を統合した震源推定(IPF 法)の検討」

(4) 14:55~15:20 中村武史(防災科学技術研究所)

「狭帯域フィルターを使った安定的な加速度マグニチュード推定」

【座長 林元直樹】

(5) 15:40~16:05 ト部卓(テレメトラ)

「多点稠密展開を実現するための低価格な高性能強震計 Telemetry-1」

(6) 16:05~16:30 香川敬生(鳥取大)

「鳥取県震度計ネットワークを利用した震度分布の即時推定 - 課題と対応 -」

(7) 16:30~16:55 神定健二(高見沢サイバネティックス)・高橋功・篠原芳紀・香川敬生・三宅弘恵

「自治体震度計観測網の次期更新計画への提案 - 観測網の拡充とデータのリアルタイム化 -」

(8) 16:55~17:20 津野靖士(鉄道総合技術研究所)

「サイト増幅を考慮した P 波規定値超過手法」

18:00~ 懇親会 (中国料理馥苑 [本郷通り沿い])

●連絡事項

予稿は A4 版 2 ページ以内(両面印刷で 1 枚)で、当日 50 部お持ちください。

○1月11日(金)

【座長 小木曾仁】

(9) 09:15～09:40 阿部聡(国土地理院)

「電子基準点リアルタイム解析システム REGARD の運用状況と改良」

(10) 09:40～10:05 大野圭太郎(東北大地震・噴火予知研究観測センター)・太田雄策

「リアルタイム GNSS を用いた地震時断層すべり分布推定の不確実性リアルタイム評価の試み」

(11) 10:05～10:30 太田雄策(東北大地震・噴火予知研究観測センター)・田中優介

「GNSS 搬送波位相から直接断層すべりを推定する手法による地震すべり分布のリアルタイム推定」

【座長 中村武史】

(12) 10:50～11:15 前田拓人(弘前大)

「データ同化にもとづく津波即時予測:現況把握・予測とその高度化」

(13) 11:15～11:40 古村孝志(東大地震研)・前田拓人・大峽充己

「高密度強震観測データに基づく長周期地震動の即時予測実験」

(14) 11:40～12:05 大峽充己(東大地震研)・古村孝志・前田拓人

「データ同化に Green 関数を併用した長周期地震動の即時予測実験」

【座長 小寺祐貴】

(15) 13:30～13:55 干場充之(気象研究所)

「周波数依存性をもつ地盤増幅特性のリアルタイム補正:位相の導入による震動継続時間の再現・予測」

(16) 13:55～14:20 小木曾仁(気象研究所)

「”揺れの数値予報”における前方散乱効果の導入」

(17) 14:20～14:55 Stephen Wu(統計数理研究所)

「California EEW assessment for BART」

【座長 溜瀨功史】

(18) 15:15～15:40 工藤祥太(大阪管区气象台)

「Deep Learning を用いた地震波形検測」

(19) 15:40～15:55 堀内茂木(ホームサイズモメータ)

「大規模地震観測のための自動処理・手動検測・表示システム」

(20) 15:55～16:20 山田真澄(京大防災研)

「2015 年ネパールゴルカ地震の余震の自動震源決定」

16:20～16:25 閉会の挨拶 (鶴岡弘)